

CASBEE 広島 2016年版
宇品東地区社員駐車場再編 東地区社員用立体駐車場新設(1期)

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	スコア
		評価点	重み係数					
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
2 溫熱環境								
2.1 室温制御								
1 室温								
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性								
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
3 光・視環境								
3.1 昼光利用								
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備								
3.2 グレア対策								
1 昼光制御								
3.3 照度								
3.4 照明制御								
4 空気質環境								
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気								
1 換気量								
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮								
4.3 運用管理								
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御								
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	2.7
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ								
1 広さ・収納性								
2 高度情報通信設備対応								
3 パリアフリー計画								
1.2 心理性・快適性								
1 広さ感・景観								
2 リフレッシュスペース								
3 内装計画								
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性				2.3	0.50	-	-	2.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.0	0.30	-	-	
1 車体材料の耐用年数				3.0	0.50	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				1.0	0.50	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	-	-	-	
2.4 信頼性				1.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備				-	-	-	-	
3 電気設備				-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法				1.0	1.00	-	-	
5 通信・情報設備				-	-	-	-	

3 対応性・更新性	壁比率0.0742 安全側をみて地震時の固定+積載荷重4100N/m ² を摘要	3.1	0.50	-	-	3.1	
		2.6	0.30	-	-		
		1.0	0.60	3.0	-		
		5.0	0.40	-	-		
		4.0	0.30	3.0	-		
		3.0	0.40	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	0.25	-	-		
		3.0	0.25	-	-		
		3.0	0.50	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	1.3	
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0	
LR 建築物の環境負荷低減性	[BEI][BEIm] : -	2.0	0.50	-	-		
		2.0	0.50	-	-		
		3.0	1.00	-	-	3.0	
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-		
2 自然エネルギー利用		-	-	-	-		
3 設備システムの高効率化		-	-	-	-		
4 効率的運用		3.0	1.00	-	-	3.0	
LR2 資源・マテリアル	集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	1.00	-	-		
		-	-	-	-		
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水		-	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	1.00	-	-		
1	1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-		
	2 雜排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6	
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.22	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	1.00	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		-	-	-	-		
LR3 敷地外環境	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている	1	-	-	-		
		2	-	-	-		
		3	-	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	0.20	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	0.20	-	-		
		-	-	-	-		
		3.0	0.20	-	-		
		-	-	-	-		
1 地球温暖化への配慮		-	-	-	-		
2 地域環境への配慮		2.3	0.50	-	-	2.3	
2.1 大気汚染防止		5.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-		
2.1	1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-		
	2 污水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
	3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
	4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.50	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
1	1 騒音	3.0	1.00	-	-		
	2 振動	-	-	-	-		
	3 悪臭	-	-	-	-		
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-		
1	1 風害の抑制	-	-	-	-		
	2 砂塵の抑制	1.0	-	-	-		
	3 日照阻害の抑制	3.0	1.00	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-		
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-		
	2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		